

利用・用途・応用分野

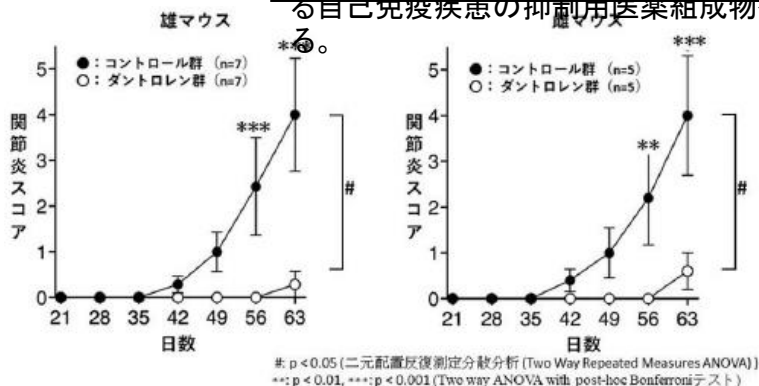
関節炎の治療、治療薬

目的・課題

従来の関節炎治療薬では、過度の免疫抑制作用による副作用が問題となっており、免疫抑制作用が少なく、関節炎をはじめとする自己免疫疾患を抑制可能な薬剤が求められている。

自己抗体が産生される自己免疫疾患、特に自己免疫性関節炎を抑制可能な新たな医薬組成物を提供することを課題とする。

【関節炎モデルマウス(CIAマウス)の四肢関節炎スコアの評価結果】



研究概要・アピールポイント

- ◆本発明の自己抗体が産生される自己免疫疾患の抑制用医薬組成物により対象における自己抗体が産生される自己免疫疾患、特に自己免疫性関節炎を抑制することが可能となる。
- ◆免疫作用への悪影響も少なく、副作用の少ない関節炎治療が期待できる。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp